令和８年度 帯広市立清川小学校 学校便り

清川



学校教育目標 『考える子(知) 豊かな子(徳) 強い子(体)』
キャッチフレーズ 『笑顔あふれ 心あったか 清川っ子』
重点教育目標
『笑顔と思いやりにあふれ、
子どもたちが生き生きと活躍する楽しい学校』
重点（目指す子どもの姿）
【あいさついっぱい】 【チャレンジいっぱい】
【えがおいっぱい】 【おもいやりいっぱい】

令和８年 10 月 16 日発行 No.12（文責 伊丹 明美）

～遠足～ ～たくさん歩いて思いっきり楽しみました！

10月2日（金）に、全校遠足を行いました。校長室に遊びに来る子どもたちからも、「おやつを買ったよ」、「お弁当が楽しみ」など、遠足を楽しみにしている様子が伝わってきました。

当日は、バスで目的地の近くまで移動してバスを降り、低学年は2キロ、中学年は 2.9 キロ、高学年は 3.4 キロと発達段階に応じた距離を歩いて今年の目的地である「更別プレイランド」に到着しました。長い距離を歩くということは、普段なかなか経験のない子どもたち。みんなのペースに合わせて歩くことは大変だったかもしれませんが、心地よい気温の中、みんなで最後まで楽しく歩くことができました。

遠足は、「校外での集団活動を通じて人間関係を深め、社会性や自主性を育む」ことを目的として行う学校行事です。みんなで行動することで、協力し合う楽しさや思いやりの心を育てたり、みんなで考えためあてや計画に向けて行動することができるようにしたり、公共の場でのルールやマナーを守ることができるようにしたりすることを目指しています。また、「体力を養う」ことも大切な目的の一つです。

清川では、時折雨も降り、お天気が心配されましたが、子どもたちの願いが叶ったのか、まとまった雨に当たることはなく、それぞれの学級で計画した遊びや縦割り班でのレクをするなど、楽しく遊び、思い切り体を動かすことができました。保護者の皆様には、子どもたちが楽しい１日を過ごすができるよう、お弁当やおやつの準備など、ご協力いただきありがとうございました。

長い距離も、みんなで歩くと、がんばれます！











楽しく遊んで、たくさん体を動かしました





楽しみなお弁当タイム。少し気温が低かったので、社会福祉センターをお借りして食べました。



後期児童会・専門委員会始動 ～後期も『やってみたい！』にチャレンジ～

10月から後期に入りました。9月29日（火）に行われた後期児童会役員選挙で選ばれた児童会事務局へ、専門委員会も後期のメンバーへバトンタッチしました。後期もみんなの「やってみたい」を形にできるよう、どんどん「チャレンジ」してほしいと思います。

会　長	さん	図書委員長	さん
副会長	さん	健康委員長	さん
書　記	さん	3,4年学級委員長	さん
書　記	さん	5,6年学級委員長	さん



「乗り入れ授業」

清川中学校の先生が清川小学校に来校し、授業を行う「乗り入れ授業」が行われています。1学期には、体力テストに向けて、全学級に指導していただきましたが、2学期以降は主に高学年に向けての授業が行われています。外国語の授業は通年で指導していただいています。また、先日は「道徳」の授業が行われ「きまり」の大切さなどについて考えました。清川中学校では、生徒が主体となって「きまり」（校則）を検討する取り組みがあることも知り、中学校生活への期待も膨らみました。

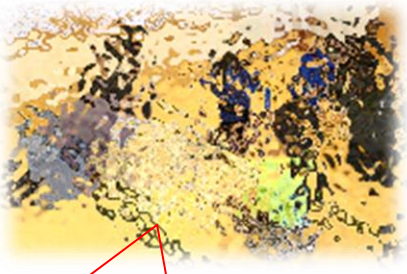
中学校の先生による専門的な指導により、学習への興味関心を高めることはもとより、中学校の学校生活にスムーズにつなぐことを目指し、今後も清川中学校の先生方の協力を得ながら「乗り入れ授業」を実施していきます。



おびひろ市民学でも“防災”

先日行われた、清川保育所・小学校・中学校合同の避難訓練に続き、中学年は「おびひろ市民学」でも、防災について学びました。

「防災かるた」を使って、これまでに「防災」について学んだことを振り返ってから、地震の際の身の守り方を中心に学習し、「担架」を使って怪我をした人を運ぶ練習も行いました。みんなで協力すると薄いアルミシートでも、友達を運ぶことができます。最後には、担任の先生を運ぶこともできました。この体験が生かされるようなことが起こらないことが一番良いのですが、このように学びを重ねることで、「まさか」の時にこれまで学んだことを生かすことができるようにしていきたいものです。



「防災カルタ」。1グループに２セット配られるので、同じ文字を２枚探します。取りながら、防災の大切な内容を楽しくおさらいします。



頭を守ることが何より大切です。



アルミシートの担架、」力を合わせると、友達も先生も運べます。

